

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

本機では、ラジオ、テレビ、DVDなど、視聴したい音源や映像を選んでお楽しみいただけます。詳しい操作方法は、各ソースのページをご覧ください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた	99	テレビの便利な機能を利用する.....	110
ディスクやSDカードの出し入れ	99	地上デジタル放送の設定をする.....	112
ソース選択画面を表示する.....	100	DVDを見る	116
音量を調整する.....	100	DVDを再生する	116
表示画面を切り替える.....	100	DVDの設定をする	119
オーディオをON/OFFする	101	DVDビデオの初期設定を変更する	120
ラジオを聴く.....	102	CD、ディスク (MP3・WMA・AAC)の音楽を聴く ...	123
ラジオを受信する.....	102	ディスクを再生する.....	123
ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する	102	SDカード/USBメモリーのファイルを視聴する	125
ラジオの放送局リストを利用する.....	103	SDカード/USBメモリーを再生する.....	125
ラジオの設定をする.....	104	iPodを聴く／iPodビデオを見る	129
テレビを見る.....	104	接続できるiPod	129
地上デジタル放送とは.....	104	iPodを再生する	131
テレビを見る前に.....	105	iPodの設定をする	133
はじめてテレビを見るときは.....	107	Bluetoothオーディオを聴く.....	134
テレビの選局をする.....	107	Bluetoothオーディオを聴くには.....	134
テレビのプリセットチャンネルリストを利用する	109	Bluetoothオーディオを再生する.....	135

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ディスクやSDカードの出し入れ

オーディオ・ビジュアルのデータをお楽しみいただくには、ディスク、またはSDカードを本機にセットします。

警告

- ディスクやSDカードは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するか、または取り出してください。

— お願い —

- ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。
- SDカードの端子面には触れないでください。

ディスクの入れかた

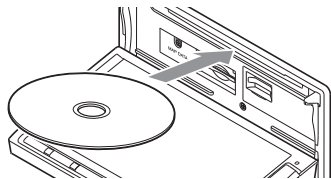
— お願い —

- ディスクを2枚重ねて挿入しないでください。重ねて挿入した場合、ディスクをパネルで挟み込んでしまうことがあります。

1 ▲▶ パネル開／閉

操作パネルが開きます。

2 ディスクの記録面（光沢のある面）を下にして、挿入口に差し込む



ディスクが取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。しばらくすると、ディスクの再生がはじまります。

— お知らせ —

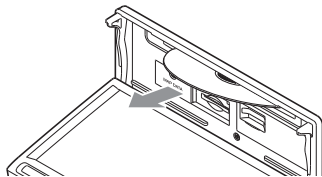
- ある程度差し込むと、ディスクは自動的に取り込まれます。ディスクが取り込まれない場合は、すでにディスクがセットされています。ディスクを無理やり挿入せず、セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。

ディスクの取り出しかた

1 ▲▶ ディスク排出

操作パネルが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す



3 ▲ または ▼ パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

— MEMO —

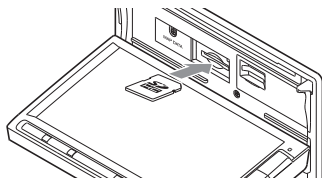
- ▲ を長押ししても、ディスクを排出できます。
- ディスクを取り出さないうちに、しばらくすると、自動的にディスクが取り込まれ、操作パネルが閉じます。

SDカードの入れかた

1 ▲▶ パネル開／閉

操作パネルが開きます。

2 SDカードのラベル面を上にして、挿入口に差し込む



— お願い —

- カチッと音がするまで、SDカードを奥にしっかりと差し込んでください。

3 ▲ または ▼ パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

— お知らせ —

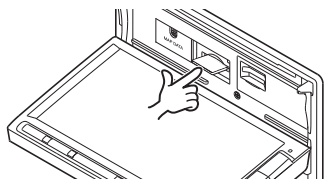
- SDカードが正しく差し込まれていないと、操作パネルを閉じることはできません。

SDカードの取り出しかた

1 ▲ ▶ パネル開/閉

操作パネルが開きます。

2 SDカードを押す



SDカードが少し飛び出します。

3 SDカードを取り出す

4 ▲ または ▼ パネル開/閉

操作パネルが閉まります。

— お願い —

- SDカードを取り出すときは、指でSDカードをしっかりとつまんでください。SDカードが飛び出すおそれがあります。

ソース選択画面を表示する

1 (オーディオONの場合)

オーディオ画面で **AUDIO**

(オーディオ画面以外では**AUDIO** を
2回押す)

(オーディオOFFの場合)

AUDIO

2 お好みのソースを選択



※別売のVTRコード接続時の画面です。
以降の操作について詳しくは、各ソースの
ページをご覧ください。

音量を調整する

1 ▲ または ▼

— お知らせ —

- 車両のスマートパーキングアシストシステム（駐車時に音声で案内する機能）が作動中の場合、オーディオの音声がミュートされるため、音量は調整できません。

— MEMO —

- ▲ または ▼ を長押しすると、連続して音量が変化します。

表示画面を切り替える

オーディオ・ビジュアルの画面には、各オーディオ専用の画面と地図画面の2種類の表示があります。オーディオ画面と地図画面は以下の手順で切り替えられます。

オーディオ画面に切り替える

1 **AUDIO**

選択したソースのオーディオ画面が表示されます。



※画面はラジオの場合です。

地図画面に切り替える

1 **現在地**


地図画面が表示されます。



※画面はラジオの場合です。

オーディオをON/OFFする

ONにする

- 1 、または
AVコントロールバー表示キーをタッチ
地図画面



オーディオ画面




地図画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ機能がONになります。オーディオ画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ画面に戻り、オーディオ機能がONになります。

— MEMO —

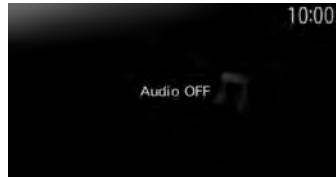
- ソース選択画面でソースを選択、またはディスクを挿入しても、オーディオをONにできます。

OFFにする

- 1 、または
ソース選択画面で **Audio OFF**
地図画面



オーディオ画面



地図画面ではAVコントロールバー表示キーの表示が「Audio OFF」になります。オーディオ画面ではAudio OFF画面になります。

— MEMO —

- オーディオをOFFにしたときも、ナビゲーションの音声案内は出力されます。

ラジオを聴く

本機では、FMラジオ・AMラジオをお楽しみいただけます。

ラジオを受信する

AM/FMを切り替える

1 ソース選択画面で **FM/AM**

ラジオが受信されます。

2 **FM/AM**



タッチするたびに、AMラジオとFMラジオが切り替わります。

— MEMO —

- 自宅モードの場合、「FM1」→「FM2」→「AM」→「FM1」…の順で切り替わります。お出かけモードの場合、「FM（お出かけ）」と「AM（お出かけ）」が交互に切り替わります。

手動でラジオの放送局を選ぶ

1 ソース選択画面で **FM/AM**

2 **◀▶** または **▶▶**

周波数が切り替わります。

— MEMO —

- **◀▶**、**▶▶** を長押しすると、周波数が連続して切り替わります。

プリセットチャンネルリストから選局する

登録した放送局を、プリセットチャンネルリストから選局します。

1 ソース選択画面で **FM/AM**

2 目的の放送局を選択

選択した放送局が受信されます。

— MEMO —

- AVコントロールバーの **前P.CH** または **次P.CH** をタッチして、放送局を切り替えられます。

ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。プリセットチャンネルリストは、自宅モードにFM1/FM2/AMの3種類、お出かけモードにFM/AMの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのリストで6局までです。プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。



プリセットチャンネルリスト

■ リストに「重複」と表示されるときは

同一周波数内で、異なる放送局名が存在するときは、リストに「重複」と表示されます。「重複」と表示されている放送局を受信中に、そのチャンネルリストをタッチすると、表示されている放送局名を切り替えられます。

受信バンドを活用する

地域別のプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。

たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録します。すると、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

1 ソース選択画面で **FM/AM**

2 **お出かけ**

プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。

お出かけモード選択時には、お出かけキーがONになります。自宅モード選択時にはお出かけキーがOFFになります。

— MEMO —

- 地域によっては、実際とは異なる放送局名がリストに表示される場合があります。

リストに自動で登録する (オートプリセット)

1 ソース選択画面で **FM/AM**

2 **メニュー ▶ オートプリセット**

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

キャンセル：

オートプリセットを中止する。

— お知らせ —

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- オートプリセットを途中で停止させた場合、それまでに受信した放送局は登録されません。

リストに手動で登録する

1 ソース選択画面で **FM/AM**

2 **登録したい放送局を受信**

3 **プリセットチャンネルリスト内の上書きをするチャンネルを、「ピーツ」という音がするまで長押し**



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

ラジオの放送局リストを利用する

放送局リストとは

走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を表示できるリストです。受信可能な放送局リストからお好みの放送局を選択して受信できます。FM/AMそれぞれ最大50局表示できます。放送局リストは **リスト更新** をタッチすることで更新できます。

— お知らせ —

- 地域によっては、実際とは異なる放送局名がリストに表示される場合があります。

放送局リストから選局する

1 ソース選択画面で **FM/AM**

2 **放送局リスト**

3 **目的の項目を選択**

選択した放送局が受信されます。

放送局リストを更新する

1 ソース選択画面で FM/AM

2 放送局リスト ▶ リスト更新

地域選択で設定している地域の周波数に合わせた放送局名が表示されます。

キャンセル：

リスト更新を中止する。

— お知らせ —

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- リスト更新を途中で停止させた場合、その時点で受信した放送局が表示されます。

ラジオの設定をする

ラジオの受信地域を選択する

受信地域を正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。自宅モードとお出かけモードでそれぞれ地域を設定できます。

— お知らせ —

- 走行中は本操作を行えません。

1 ソース選択画面で FM/AM

2 メニュー ▶ 地域選択

3 地域を選択



オート：

自車位置に応じた地域の放送局を表示する。

4 戻る

受信地域が切り替わります。

テレビを見る

本機では、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。

警告

- 運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧ください。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

準備

- テレビを受信するには、受信用アンテナが必要です。

— MEMO —

- 本機は地上デジタル12セグ放送と1セグ放送の自動切り替えができます。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的に1セグ放送に切り替えられます。→ P.112
- テレビ受信中の音量は、ラジオ、DVDなどに切り替えて音量を変えても、次回テレビを受信したときに元の音量で見られます。
- テレビ受信時に（主に弱電界）画像が乱れることがあります。故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

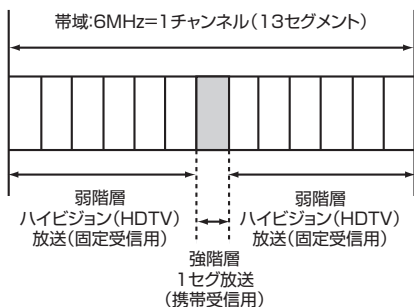
地上デジタル放送とは

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。本機では、1セグ／12セグの地上デジタル放送を楽しめます。

12セグと1セグについて

日本の地上デジタル放送は、UHF帯域の電波を使用しており、約6MHzの帯域を1つのチャンネルとして13個のセグメントと呼ばれる領域に分けて放送する仕組みとなっています。そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の固定受信向けのHDTV放送（弱階層）を行うサービスを12セグと呼びます。1セグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けの簡易動画放送（強階層）を行うサービスです。

1セグは12セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は12セグより長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる特長を備えています。



マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1つの放送局が図のように周波数帯域を2～5に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

	A 放送局		
	○○○ch	△△△ch	×××ch
6時	プロ野球中継 (デジタルハイビジョン放送)		
7時	プロ野球 (標準テレビ放送)	ドラマ (標準テレビ放送)	ニュース (標準テレビ放送)
8時	映画 (デジタルハイビジョン放送)		

上記の例で、6時台は○○○chと△△△chと×××chのすべてを使いプロ野球を放送。7時台は○○○chでプロ野球、△△△chでドラマ、×××chでニュースをそれぞれ放送。8時台は、○○○chと△△△chと×××chのすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。

上記の放送の例では、○○○chをメインチャンネル、△△△chと×××chをサブチャンネルと呼びます。

本機はマルチチャンネルに対応しています。

テレビを見る前に

テレビを視聴するために必要なmini B-CASカードについて説明します。

mini B-CASカードについて

mini B-CASカード（以降、B-CASカード）は、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。

地上デジタル放送では、このB-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。

地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機にB-CASカードを入れてください。

地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

⚠ 警告

- B-CASカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

- お願い —
- B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとカードが故障するおそれがあります。
- B-CASカードの金属端子面は触らないでください。金属端子面に触れるとカードが故障するおそれがあります。
- B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりカードが故障するおそれがあります。
- B-CASカードを磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりカードが故障するおそれがあります。

- お知らせ —
- B-CASカードは本機に付属のものを使用してください。
- 試乗車など、不特定、または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
※ 試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。

mini B-CASカードを台紙から取る

B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。

B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

— お知らせ —

- B-CASカードに関する内容の問い合わせや、B-CASカードを紛失された場合は、下記へお問い合わせください。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

TEL : 0570-000-250

(AM10 : 00 ~ PM8 : 00) (年中無休)

- お問い合わせ時にB-CASカードのID (識別) 番号が必要となる場合があります。あらかじめB-CASカードのID番号は控えておいてください。→ P.114

mini B-CASカードのセット

— お願い —

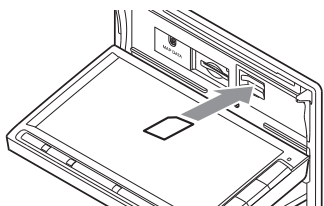
- B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンキーをOFFにした状態で行ってください。
- カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因となります。
- 車から離れるときは、必ず操作パネルを閉じてください。

1 エンジンキーをOFFにする

2 ▲▶ パネル開/閉

操作パネルが開きます。

3 金属端子面を下にして、mini B-CASカードをカード挿入口に挿入する



4 ▲ または ▲ パネル開/閉

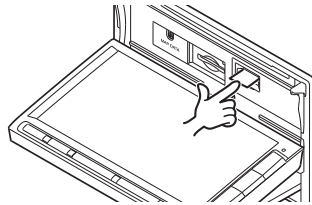
— お知らせ —

- mini B-CASカードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。



印字面を上にして差し込む

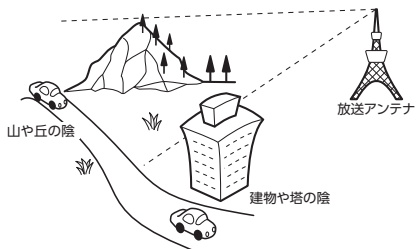
- mini B-CASカードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。奥まで差し込まれていないと、操作パネルが閉じなくなり、受信できません。(カチッと音がするまで差し込みます。)
- mini B-CASカードを抜く場合は、カードや本体を傷つけないよう静かに抜いてください。(指先でカチッと音がするまで押し離します。その後、指先でカードをしっかりとつまんで手前に抜き取りします。)



テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

- 車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- 電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



はじめてテレビを見るときは

はじめてテレビを見るときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶（オートプリセット）させます。

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 **設定**
- 3 テレビを受信する地域を選択



設定しない：

テレビ画面に切り替わる。

この場合、放送局のリスト(プリセットチャンネルリスト)には何も表示されません。

- 4 テレビを受信する地域の郵便番号を入力 ▶ **決定**
- 5 **はい**

受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。オートプリセットが終了するまで、しばらくお待ちください。

オートプリセットが終了すると、テレビ画面に切り替わります。



画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

何も操作しないまま約8秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：

手動でメニューキーを非表示にする。

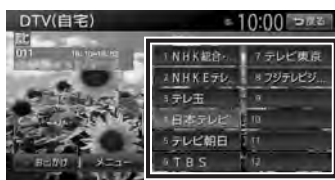
— MEMO —

- 手順3、手順4で「設定しない」を選択しても、オートプリセットを実行できます。
- 手順5で「いいえ」を選択すると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト(プリセットチャンネルリスト)には何も表示されません。
- 受信する地域と郵便番号は、設定画面からも設定できます。→ P.113

テレビの選局をする

テレビ画面から選局する

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ ▶ **放送局を選択**



選択した放送局に切り替わります。

— MEMO —

- **◀▶**、**▶▶** を押すと、チャンネルを切り替えられます。

自動で選局する

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 **◀▶** または **▶▶** を長押し

受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

— MEMO —

- 「1セグ/地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.112

受信可能な中継局/系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えられます。

はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ

3 **メニュー ▶ 系列局サーチ**

走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。
異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信できます。→ P.113

— MEMO —

- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.112
- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

番組表 (EPG) から選局する

1 ソース選択画面で **Digital TV**

2 画面をタッチ

3 **メニュー ▶ 番組表**

4 **▲、▼、◀、▶** で番組を選択 **▶ 決定**



選択した番組の放送を受信します。

番組表切替：

番組表の表示を1セグ／12セグに切り替える。

※「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合のみ→ P.112

更新：

番組表の内容を更新する。

前日：

翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示する。

翌日：

翌日の番組表を表示する。

表示切替：

番組表の表示を、メインチャンネルのみ／全チャンネルに切り替える。

拡大縮小：

4パターン of 拡大縮小画面を表示する。

— MEMO —

- 番組表は、ほかのソース選択時やオーディオパワー OFF時などに、15分ごとに自動で更新されます。
- 現在の放送時間ではない番組を選択すると、番組内容が表示されます。→ P.110

チャンネル番号を入力して選局する

12セグおよび1セグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局できます。

1 ソース選択画面で **Digital TV**

2 画面をタッチ

3 **メニュー ▶ 設定**

4 **チャンネル番号入力**

5 **チャンネル番号を入力 ▶ 決定**

— お知らせ —

- 3桁に満たない番号を入力した場合は、**決定** はタッチできません。

— MEMO —

- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、1セグ／12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。→ P.112

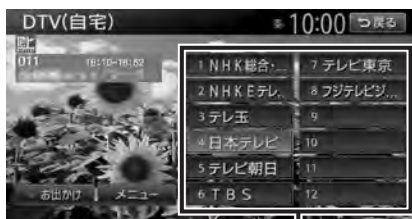
「1セグ固定」の場合は1セグ3桁チャンネル、「地デジ固定」の場合は12セグ3桁チャンネル番号のみ選局されます。

テレビのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

プリセットチャンネルリストは、自宅モードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。



プリセットチャンネルリスト
(放送局リスト)

— お知らせ —

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルに登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。
- 1セグと12セグを切り替えても、プリセットチャンネルリストの表示は変わりません。
→ P.112

受信バンドを活用する

地域別のプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録します。すると、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ

3 お出かけ

プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。

お出かけモード選択時には、お出かけキーがONになります。自宅モード選択時にはお出かけキーがOFFになります。

リストに自動で登録する (オートプリセット)

1 ソース選択画面で **Digital TV**

2 画面をタッチ

3 **メニュー** ▶ **オートプリセット**

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

— お知らせ —

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 受信状態によっては、1分ほど処理時間がかかることがあります。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートプリセットした結果が全部は登録できない場合があります。

— MEMO —

- お出かけモード中で、お出かけ地域を設定している場合は、手順3の後に「現在のお出かけ地域設定を考慮しますか?」と表示されます。
→ P.113

はい または **いいえ** をタッチして、オートプリセットを行います。

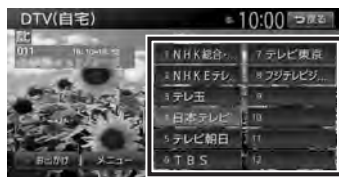
- オートプリセット中は、**キャンセル** をタッチして取り消せます。
- オートプリセットを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。以前に手動で登録したプリセットチャンネルが消去される場合もあります。
- オートプリセットを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わりません。オートプリセット前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。→ P.113

テレビを見る

- 県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートプリセットしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 「1セグ/地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.112
「1セグ固定」、または「地デジ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

リストに手で登録する

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 登録したい放送局を受信
- 4 プリセットチャンネルリスト内の上書きするチャンネルを、「ピーツ」という音がするまで長押し



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン/サブチャンネルを選局する (12セグ放送のみ)

受信中のチャンネルにサブチャンネルがある場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えられます。サブチャンネルがある場合は、プリセットチャンネルキーに「SUB」と表示されます。

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 受信中のプリセットチャンネルを選択



サブチャンネルに切り替わります。

テレビの便利な機能を利用する

テレビの番組内容を見る (12セグ放送のみ)

- お知らせ —
- 走行中は、本操作を行えません。

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー** ▶ **番組内容**

- MEMO —
- 番組表 (EPG) 画面で現在放送中ではない番組を選択した場合も、番組内容を表示できます。→ P.108
この場合は、番組内容の概要が表示されます。番組内容の概要は、1セグ選択中でも表示できます。

データ放送を利用する (12セグ放送のみ)

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかにデータ放送があります。データ放送では、自車位置周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせします。

- MEMO —
- データ放送がない番組の場合、データ放送画面は表示されません。

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー** ▶ **データ放送操作キー呼出**

4 **d**

データ放送画面が表示されます。
画面を操作する場合は手順5に進みます。



手順5に進み、画面を操作する。

d :

データ放送の表示／非表示を切り替える。

終了 :

データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

5



画面上に操作キーが表示されます。



戻る :

1つ前の画面に戻る。

決定 :

選択している項目を決定する。

青 赤 緑 黄 :

画面に表示されている説明の動作を行う。

0-9 :

数字入力メニューに切り替わる。

d :

データ放送の表示／非表示を切り替える。

移動 :

操作キーの位置を画面の左右に移動する。

終了 :

データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

消す :

操作キーの表示を消す。

— お知らせ —

- チャンネル選局直後には **d** をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 **d** をタッチしてください。
- データ放送取得中は、画面下に「データ取得中」と表示されます。表示が消えてから **d** をタッチしてください。

緊急放送を見る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に、いち早く視聴者に情報を知らせる放送システムです。

テレビを視聴中に緊急放送がはじまると、画面に「EWS」(Emergency Warning System)、または「緊急放送を受信しました」と表示されます。その後、自動で緊急放送に切り替わります。



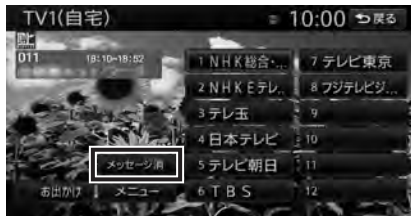
放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

— MEMO —

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動配信されるメッセージがある場合は、その内容が画面上に表示されます。



テレビを見る

テレビ画面で **メッセージ消** をタッチすると、自動表示メッセージが消去されます。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグと1セグ共通の各種設定・編集ができます。

1セグ／12セグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送から1セグ放送へ自動的に切り替える設定ができます。

「自動」に設定中は、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルの1セグ放送に自動的に切り替わります。(初期値: 自動)

また、1セグ／12セグのみ受信することもできます。

— MEMO —

- 以下の場合は自動的に切り替わりません。
 - 1セグ放送の受信感度が悪い場合
 - 12セグ放送で視聴していたチャンネルに1セグ放送がない場合
- ただし放送局によっては、1セグ放送を行ってなくても、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12セグ放送と1セグ放送とで番組が異なる場合があります。

1 ソース選択画面で **Digital TV**

2 画面をタッチ

3 **メニュー** ▶ **設定**

4 [1セグ/地デジ切替] の ◀、▶ で項目を選択



自動：

12セグ放送と1セグ放送を自動で切り替える。

手動で1セグ放送に切り替えても、12セグ放送の受信電波が強くなった場合は12セグ放送に切り替わります。

地デジ固定：

12セグ放送を受信する。

電波が弱くなっても1セグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。

1セグ固定：

1セグ放送を受信する。

— MEMO —

- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときに1セグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

音声言語を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 ソース選択画面で **Digital TV**

2 画面をタッチ

3 **メニュー** ▶ **設定**

4 [音声]の ◀、▶ で音声を選択

受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。12セグ放送は最大16音声まで、1セグ放送は2音声まで切り替えられます。

— MEMO —

- 音声を切り替えた後、ほかのチャンネルに切り替えると第1音声に戻ります。同じチャンネルのまま12セグと1セグを切り替えた場合、設定した音声は変わりません。

二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー ▶ 設定**
- 4 **[主/副] の ◀、▶ で音声を選択**
「主音声」「副音声」「主/副音声」から選択します。(初期値：主音声)

— MEMO —

- 副音声の状態ではほかのチャンネルに切り替えたととき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

字幕表示を切り替える

字幕の付いた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー ▶ 設定**
- 4 **[字幕] の ◀、▶ で項目を選択**
「第一言語」「第二言語」「非表示」から選択します。(初期値：非表示)

放送局を自動で切り替える

高校野球中継など、時間内に放送が終わらなかったとき局が変更される番組は、放送局の切り替えを自動で行えます。(初期値：ON)

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー ▶ 設定**
- 4 **イベントリレー**

系列局／中継局を自動で探す

走行中に電波状態が悪化し、受信レベルが回復しない場合、放送局を自動でサーチするように設定できます。(初期値：中継局＋系列局サーチ)

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー ▶ 設定**
- 4 **放送局自動サーチ設定**
- 5 目的の項目を選択



OFF：

放送局の自動サーチを行わない。

中継局＋系列局サーチ：

走行している地域が変わった場合、その地域の中継局／系列局を自動でサーチする。電波が弱くなり、15秒間受信できなくなると、自動サーチを開始します。

優先エリアを切り替える

県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。(初期値：未設定) 優先地域と郵便番号は「自宅」と「お出かけ」でそれぞれ設定できます。

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー ▶ 設定**
- 4 **自宅エリア・郵便番号設定**
(自宅モード中)、または
お出かけエリア・郵便番号設定
(お出かけモード中)

5 優先させたい地域を選択



設定しない：

エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合に選択する。

6 郵便番号を入力 ▶ 決定



7 はい



いいえ：

オートプリセットを行わず、テレビ画面に戻る。

オートプリセットが開始されます。

→ P.109

放送メールを表示する

— お知らせ —

- 放送メールの受信が1通もない場合、**放送メール** はタッチできません。

1 ソース選択画面で **Digital TV**

2 画面をタッチ

3 **メニュー** ▶ **設定**

4 放送メール

放送メール一覧画面が表示されます。

すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

5 メールを選択 ▶ **決定**

選択した放送メールの内容が表示されます。

消去：

放送メールを選択して消去する。

また、すべての放送メールを一括で消去できます。→ P.115

— MEMO —

- 受信した放送メールは最大8件まで保存されません。8件以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に消去されます。一番古いメールが未読状態でも消去されます。

mini B-CASカード情報を確認する

1 ソース選択画面で **Digital TV**

2 画面をタッチ

3 **メニュー** ▶ **設定**

4 **B-CASカード情報**

mini B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

テスト：

mini B-CASカードの通信テストを行う。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。

テレビの設定情報を初期化する

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー** ▶ **設定**
- 4 **設定情報初期化**
- 5 初期化したい設定情報を選択



受信メール消去：

放送メールをすべて消去する。

自宅エリア設定消去：

自宅モードの地域と郵便番号設定を消去する。

お出かけエリア設定消去：

お出かけモードの地域と郵便番号設定を消去する。

各種設定項目の初期化：

設定メニューで設定した項目を初期化する。プリセットチャンネルリストおよび画質調整設定の初期化、放送メールの消去は行いません。

全データの消去・初期化：

設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化する。また、放送メールをすべて消去する。画質調整の設定は初期化されません。消去の確認画面が表示されます。

6 はい

選択した各設定が初期化されます。

— お願い —

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンキーをOFFにしないでください。初期化中にエンジンキーをOFFにした場合、初期化できないことがあります。

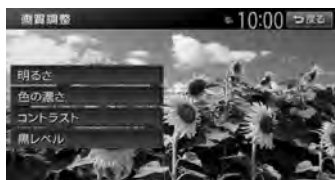
映像／音声のずれを補正する

12セグ／1セグ自動切替時の映像／音声のずれを軽減します。(初期値：ON)

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー** ▶ **設定**
- 4 **遅延補正**

テレビの画質を調整する

- 1 ソース選択画面で **Digital TV**
- 2 画面をタッチ
- 3 **メニュー** ▶ **設定**
- 4 **画質調整**
- 5 調整する項目を選択



6 — または +

画面の映像を見ながら画質を調整します。

7 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO —

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できません。

DVDを見る

本機では、市販されているDVDビデオ、またご家庭などで録画されたDVD-VRをお楽しみいただけます。

— お知らせ —

- DVDビデオとDVD-VRでは操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。

DVDを再生する

⚠ 警告

- 運転者がDVDの映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

— MEMO —

- 市販のDVD（DVDビデオ）とご家庭で録画されたDVD（DVD-VR）の画面は異なります。

- 1 DVDをセットする、またはソース選択画面で **DVD/CD** 本機にセットされたDVDが再生されます。（DVDビデオの場合）



（DVD-VRの場合）



画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：

手動でメニューキーを非表示にする。

再生を停止する

- 1 再生中に画面をタッチ ▶ **▶/II** を長押し

DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

レジューム停止中に **▶/II** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

レジューム停止中に **▶/II** を長押しすると、再生が完全に停止します。（完全停止）次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

— お知らせ —

- DVDビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。そのような場合は、**メニュー操作** をタッチして、DVDメニューの操作キーから操作を行ってください。

- 1 再生中に画面をタッチ ▶ **▶/II** DVDの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。一時停止中に **▶/II** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。一時停止中に **▶/II** を長押しすると、DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

— MEMO —

- 一時停止中に交通情報を聞くと、一時停止が解除され、再生がはじまります。

前／次のチャプターを再生する

- 1 **◀◀** または **▶▶**

— MEMO —

- **◀◀** を押すとチャプターの先頭に戻り、さらに **◀◀** を押すごとに前のチャプターに移動します。

早戻し／早送りする

- 再生中に **◀◀** (早戻し)、または **▶▶** (早送り) を長押し

— MEMO —

- ◀◀、▶▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

- 再生中に画面をタッチ ▶ **▶/||**

- ▶▶** を長押し

— MEMO —

- ▶▶ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「スロー再生 1/4」と表示されます。

リピート再生をする

— お知らせ —

- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生できません。

- ソース選択画面で **DVD/CD**
- 画面をタッチ
- リピート**

— MEMO —

- 通常再生に戻す場合は、**リピート** を再度タッチします。

メニューから再生する (DVDビデオ)

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー (ディスクメニュー) が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、見たい映像をすぐに再生できます。

— お知らせ —

- 表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

- ソース選択画面で **DVD/CD**

— MEMO —

- DVDメニュー再生中にメニュートップ画面に戻るとタイトルやチャプターなどを直接タッチできます。
◀▶ をタッチすると、手順5の画面に切り替わります。

- 画面をタッチ

- メニュー操作**

- トップメニュー** または **メニュー**

トップメニュー、または再生中のチャプターのメニューが表示されます。

— お知らせ —

- 「現在その操作はできません」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

- ▲、◀、▶、▼** でメニューを選択

▶ **決定**



選択したメニュー項目が再生されます。

戻る：

1つ前の画面に戻る。

10キー：

メニュー番号を直接入力して、メニュー項目を選択する。

左へ、右へ：

タッチキーを画面の左右に移動する。

クリア：

10キー入力した番号を消去する。

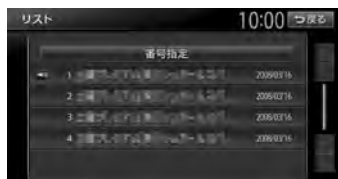
タイトルリストから再生する (DVD-VR)

- ソース選択画面で **DVD/CD**

- 画面をタッチ

- リスト**

4 見たいタイトルを選択



5 戻る

プレイリストから再生する (DVD-VR)

プレイリストとは、DVD映像をお好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルです。

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

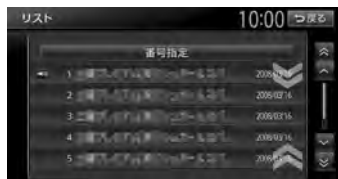
3 プレイリスト (ONになっていることを確認)

— MEMO —

- 「プレイリスト」がONのときは、プレイリストが表示されます。「プレイリスト」がOFFのときは、タイトルリストが表示されます。

4 リスト

5 見たい項目を選択



選択した項目が再生されます。

番号指定：

プレイリスト番号を入力する。
入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

6 戻る

静止画の切り替えをする (DVD-VR)

— MEMO —

- 本機能は、音声の入っていない静止画再生時のみ使用できます。

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 静止画切替

タッチするたびにチャプター内の静止画が切り替わります。

— お知らせ —

- 「静止画切替」をタッチしてもほかのチャプターの静止画は再生されません。ほかのチャプターは **◀◀**、**▶▶** を押して再生してください。

— MEMO —

- チャプター内に静止画が1枚しか収録されていない場合などは、「現在その操作はできません」と表示されます。

タイトル・チャプター番号を入力して再生する (DVDビデオ)

1 ソース選択画面で DVD/CD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 10キーダイレクト入力

4 タイトル または チャプター

5 番号を入力



6 決定 ▶ 戻る ▶ 戻る

入力したタイトル、またはチャプターが再生されます。

DVDの設定をする

字幕言語・音声言語・アングルを切り替える (DVDビデオ)

— お知らせ —

- DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

1 ソース選択画面で **DVD/CD**

2 画面をタッチ

3 **設定** ▶ **音声・字幕・アングル**

4 **音声**、**字幕**、**アングル**

タッチするたびに音声言語、字幕言語、アングルの設定が切り替わります。

— お知らせ —

- 設定できる言語はディスクによって異なります。

— MEMO —

- 初期設定で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」で字幕を非表示にできます。

5 **戻る**

字幕表示・音声を切り替える (DVD-VR)

— お知らせ —

- DVDに字幕、複数の音声が発音されている場合のみ有効です。

1 ソース選択画面で **DVD/CD**

2 画面をタッチ

3 **設定** ▶ **音声・字幕**

4 **音声** または **字幕**

タッチするたびに音声、または字幕の設定が切り替わります。

— お知らせ —

- 設定できる音声はディスクによって異なります。

5 **戻る**

画面サイズを切り替える

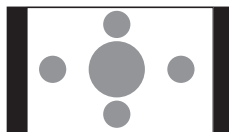
1 ソース選択画面で **DVD/CD**

2 画面をタッチ

3 **設定** ▶ **画面切替**

4 画面サイズを選択

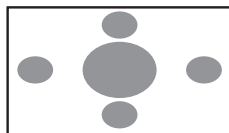
ノーマル：



映像を縦横の比率を変えずに中央に表示する。

映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

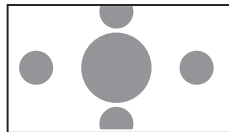
フルワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。

映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：



シネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使う。

映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

5 **戻る**

DVDの画質を調整する

- 1 ソース選択画面で **DVD/CD**
- 2 画面をタッチ
- 3 **設定** ▶ **画質調整**
- 4 調整する項目を選択



- 5 **- または +**
画面の映像を見ながら画質を調整します。
- 6 **戻る**
調整した画質に設定されます。

— MEMO —

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できません。

DVDの状態表示を設定する

再生画面に、常にチャプター番号と再生時間を表示できます。

- 1 ソース選択画面で **DVD/CD**
- 2 画面をタッチ
- 3 (DVDビデオの場合)
設定 ▶ **初期設定**
(DVD-VRの場合)
設定
- 4 **常に状態を表示する**
再生状態の表示が設定されます。

01-01 00:02:19

— MEMO —

- 再生状態の表示を解除する場合は、**常に状態を表示する** を再度タッチします。

DVDビデオの初期設定を変更する

— MEMO —

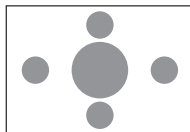
- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生がはじまりますが、設定内容によって再生がはじまる位置が異なります。(DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生がはじまることもあります)
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生がはじまります。

DVDのモニターサイズを設定する

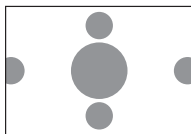
- 1 ソース選択画面で **DVD/CD**
- 2 画面をタッチ
- 3 **設定** ▶ **初期設定**
- 4 **モニターサイズ設定**



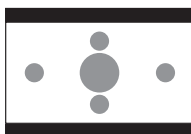
- 5 **モニターサイズを選択**
ワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。

パンスキャン：

画面の上下と映像の高さを合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。

レターボックス：

画面の横幅と映像の幅を合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

— お知らせ —

- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」、または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

優先する言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。

— お知らせ —

- 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

1 ソース選択画面で DVD/CD**2 画面をタッチ****3 設定 ▶ 初期設定****4 メニュー言語、音声言語、字幕言語**

いずれかのキーをタッチすると、言語のリストが表示され、再生時に優先する言語を選択できます。

— MEMO —

- 各言語は、英語、日本語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語から選択できます。字幕言語では「OFF」を選択し、字幕を非表示にできます。

5 言語を選択**パレンタルレベルとパスワードを設定する**

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。→ P.122

■ 視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。レベルは1～8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できない場合があります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合
本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル3～8」の場合のみ、再生できます。

「レベル1～2」の場合のみ、再生しようすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。

また、パレンタルレベルは国によって異なります。カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。

→ P.196

DVDを見る

— お知らせ —

- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルの記載がないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。

— MEMO —

- 視聴制限をかけない場合は、本設定は必要ありません。
- パレンタルレベルの初期値は「パレンタルレベルOFF」です。すべてのDVDビデオに対して視聴制限のない状態になっています。

■ パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。(初期値：未設定)

- 1 ソース選択画面で **DVD/CD**
- 2 画面をタッチ
- 3 **設定** ▶ **初期設定**
- 4 **パスワード**
- 5 **パスワードを入力** ▶ **決定**
入力されたパスワードは、「****」と表示されます。
新規パスワード設定の場合→手順8
- 6 **パスワードの変更**
パスワードの消去：
パスワードを消去する。
- 7 **新しいパスワードを入力** ▶ **決定**
- 8 **再度同じパスワードを入力** ▶ **決定**
新しいパスワードが設定されます。

— MEMO —

- パレンタルレベルを頻繁に変更する場合は、パスワードを消去して「未設定」にしておくと、パスワード入力の手間を省けます。

■ パレンタルレベルを設定する

準備

- パレンタルレベルを設定する場合は、パスワードの設定が必要です。

- 1 ソース選択画面で **DVD/CD**
- 2 画面をタッチ
- 3 **設定** ▶ **初期設定**
- 4 **視聴制限 (パレンタルレベル)**
- 5 **パスワードを入力** ▶ **決定**
- 6 **パレンタルレベルを選択**
パレンタルレベルが設定されます。
OFF：
すべてのDVDビデオに対して視聴制限が解除される。

■ カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定してください。(初期値：7480 (JAPAN)) カントリーコードは、国を識別するためのコードです。
→ P.196

- 1 ソース選択画面で **DVD/CD**
- 2 画面をタッチ
- 3 **設定** ▶ **初期設定**
- 4 **カントリーコード**
- 5 **DVDに記録してある国、または地域の
カントリーコードを入力** ▶ **決定**

CD、ディスク (MP3・WMA・AAC)の 音楽を聴く

本機では、音楽CDのほかに、MP3・WMA・AAC形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。

ディスクを再生する

- お知らせ —
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

— MEMO —

- 以下のディスクを再生すると、アーティスト名、トラックタイトルなどの情報が表示されます。
 - CD-TEXTの入ったディスク
 - ID3タグ、WMAタグ、AACタグの入ったディスク

上記以外のディスクを再生した場合は、「Track01」などの番号のみ表示されます。

- ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を再生した場合、トラック間に2～3秒の無音部分が発生します。

CDを再生する

- 1 CDをセットする、または
ソース選択画面で **DVD/CD**
本機にセットされたCDが再生されます。



- お知らせ —
- 本機にSDカードがセットされている場合、操作パネルが完全に閉じるまで再生は始まりません。

MP3・WMA・AACのディスクを再生する

- 1 MP3・WMA・AACディスクをセットする、または
ソース選択画面で **DVD/CD**
本機にセットされたディスクが再生されます。



早戻し／早送りする

- 1 再生中に **⏮**（早戻し）、または
⏭（早送り）を長押し

— MEMO —

- **⏮**、**⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

- 1 再生中に **⏪** または **⏩**

— MEMO —

- **⏪** を押すとトラックの先頭に戻り、さらに**⏪**を押すごとに前のトラックに移動します。

前／次のフォルダを再生する (MP3・WMA・AAC再生時のみ)

- 1 再生中に **前フォルダ** または
次フォルダ
前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の
先頭のトラックが再生されます。

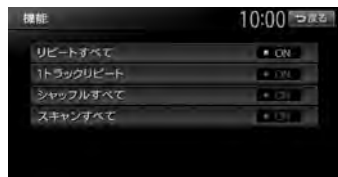
リピート・シャッフル・スキャン再生をする

1 ソース選択画面で **DVD/CD**

2 **機能**

3 目的の項目を選択

(CDの場合)



リピートすべて：

ディスク内の全トラックをリピート再生する。

1トラックリピート：

現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

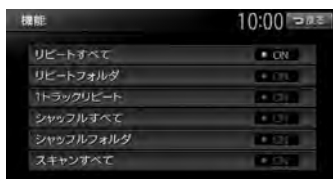
シャッフルすべて：

現在再生中のCDの全トラックをランダムに再生する。

スキャンすべて：

現在再生中のCDの全トラックの出だしを10秒間ずつ再生する。

(MP3・WMA・AACの場合)



リピートすべて：

ディスク内の全トラックをリピート再生する。

リピートフォルダ：

現在再生中のフォルダ全体をリピート再生する。

1トラックリピート：

現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

シャッフルすべて：

ディスク内の全トラックをランダムに再生する。

シャッフルフォルダ：

現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生する。

スキャンすべて：

ディスク内の全トラックの出だしを10秒間ずつ再生する。

タイトルリストから再生する

— MEMO —

- 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 ソース選択画面で **DVD/CD**

2 (CDの場合)

トラックリストが表示されます。

(MP3・WMA・AACの場合)

再生中のフォルダを選択

再生中のトラックリストが表示されます。

— MEMO —

- 再生中以外のフォルダを選択した場合は、トラックリストには切り替わりません。フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

3 **トラックを選択**

CD画面



MP3/WMA/AAC画面



選択したトラックから再生がはじまります。

SDカード/USBメモリーのファイルを視聴する

本機では、お手持ちのSDカードやUSBメモリーに保存した音楽やビデオを視聴できます。

SDカード/USBメモリーを再生する

SDカードやUSBメモリーを使用して、以下のファイルを再生できます。

- MP3/WMA/AAC形式のオーディオファイル
- MPEG4/WMV/H.264形式のビデオファイル

警告

- 運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

— お願い —

- USBメモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のUSBメモリーの上に乗ったり、物の上に置かないでください。故障の原因となります。

— お知らせ —

- 本機にiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。

— MEMO —

- SDカードおよびUSBメモリー内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。

SDカードを再生する

1 SDカードをセット

2 ソース選択画面で **SDメモリーカード**

SDカードのファイルが再生されます。



USBメモリーを再生する

- 1 USBメモリーを接続する
- 2 ソース選択画面で **USB/iPod**
USBメモリーのファイルが再生されます。



オーディオモードとビデオモードを切り替える

- 1 ソース選択画面で **SDメモリーカード** または **USB/iPod**
- 2 **モード切替**
- 3 **ミュージック** または **ビデオ**
選択した再生モードに切り替わります。
ビデオ画面



画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：
手動でメニューキーを非表示にする。

再生を停止する（ビデオのみ）

- 1 再生中に画面をタッチ ▶ **▶/||** を長押し
ビデオの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）
レジューム停止中に **▶/||** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

一時停止する（ビデオのみ）

- 1 再生中に画面をタッチ ▶ **▶/||**
ビデオの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。
一時停止中に **▶/||** をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
一時停止中に **▶/||** を長押しすると、ビデオの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

早戻し／早送りする

- 1 再生中に **◀◀**（早戻し）、または **▶▶**（早送り）を長押し

— MEMO —

- **◀◀**、**▶▶** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

- 1 再生中に **◀◀** または **▶▶**

— MEMO —

- **◀◀** を押すとトラックの先頭に戻り、さらに **◀◀** を押すごとに前のトラックに移動します。

フォルダリスト／トラックリストから再生する

— MEMO —

- 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

- 1 ソース選択画面で **SDメモリーカード** または **USB/iPod**

2 (オーディオの場合) 再生中のフォルダを選択



— MEMO —

- 再生中以外のフォルダを選択した場合は、トラックリストには切り替わりません。フォルダリストが表示されたまま、先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

(ビデオの場合)

画面をタッチ ▶ **フォルダリスト** ▶
再生中のフォルダを選択



トラックリストが表示されます。

— MEMO —

- 手順2の画面で **トラックリスト** をタッチすると、再生中のフォルダのトラックリストが表示されます。

3 トラックを選択

選択したトラックから再生がはじまります。

前／次のフォルダを再生する (オーディオのみ)

1 再生中に **前フォルダ** または **次フォルダ**

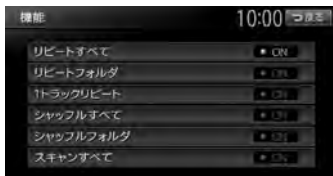
前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・シャッフル・スキャン再生をする

1 ソース選択画面で **SDメモリーカード** または **USB/iPod**

2 **機能**

3 目的の項目を選択



※画面はオーディオの場合です。

リピートすべて：

全トラックをリピート再生する。

リピートフォルダ：

現在再生中のフォルダ内の全トラックをリピート再生する。

1トラックリピート：

現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

シャッフルすべて (オーディオのみ)：

全フォルダからランダムにフォルダを選択する。

さらにそのフォルダ内からランダムに選択したトラックを再生する。

シャッフルフォルダ (オーディオのみ)：

現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生する。

スキャンすべて (オーディオのみ)：

全トラックの出だしを10秒間ずつ再生する。

状態表示を設定する（ビデオのみ）

ビデオの再生画面に、常に再生状態（フォルダ番号、トラック番号）を表示できます。

- 1 ソース選択画面で **SDメモリーカード**
または **USB/iPod**
- 2 画面をタッチ
- 3 **設定** ▶ **初期設定**
- 4 **常に状態を表示する**
再生状態の表示が設定されます。

— MEMO —

- 再生状態の表示を解除する場合は、**常に状態を表示する** を再度タッチします。
-

iPodを聴く／iPodビデオを見る

接続できるiPod



本機は第5世代iPod[®]、iPod classic[®]、iPod nano[®]、iPod touch[®]、iPhone[®] 3G、iPhone 3GS、iPhone 4、iPhone 4S、iPhone 5に対応しています。

詳しくは以下の表をご覧ください。なお、iPodは本機に付属していません。お手持ちのiPodをお使いください。Dockコネクタ搭載のiPod/iPodビデオを視聴するには、別売のビデオ対応iPodケーブルを使用します。Lightningコネクタ搭載のiPodを聴くには、iPhone、iPodに付属のケーブルを使用します。別売のUSB接続ジャックの差込部は、車両ごとに取付位置が異なります。

準備

- 本機でiPodをご使用になるときは、iPodのファームウェアを最新にします。

接続可能なiPod	備考
iPod (第5世代)	ビデオ再生可
iPod classic (80GB、120GB、160GB) ^{※1}	ビデオ再生可
iPod nano (第1世代、第2世代)	
iPod nano (第3世代、第4世代 ^{※1} 、第5世代)	ビデオ再生可
iPod nano (第6世代)	
iPod nano (第7世代)	ビデオ再生不可
iPod touch (第1世代 ^{※2,※3})	ビデオ再生不可
iPod touch (第2世代、第3世代、第4世代)	ビデオ再生可
iPod touch (第5世代)	ビデオ再生不可
iPhone 3G/iPhone 3GS/iPhone 4/iPhone 4S	ビデオ再生可
iPhone 5	ビデオ再生不可

※1 ビデオファイルのみ保存している場合、iPodが認識されない場合があります。1つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。

※2 ファームウェア2.0以降では、ビデオを再生することができます。ファームウェアが2.0より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。

※3 「On-The-Go」は再生できません。iTunes[®]と同期後はプレイリストとして再生できます。

お願い

- 車のエンジンキーをOFFにした後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗するおそれがあります。

— お知らせ —

- iPad®/iPad Retinaディスプレイモデル/iPad mini/iPad2には対応していません。
- iPodの動作についてはすべてを保証するものではありません。
- iPodの接続対象機種一覧に記載があっても、ファームウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドフォンなどのアクセサリを使用しないでください。
- iPodの機種やファームウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- 接続可能な機種の情報については、以下をご覧ください。
<http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist>

— MEMO —

- iPodの動作が停止した場合、カテゴリリストから曲やビデオを選択することで操作可能になると場合があります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しないことがあります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- iPodの機種によっては再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPod touch、またはiPhoneをBluetooth接続している状態で、Bluetoothオーディオ再生、またはハンズフリー通話を行うと、iPodモードで音声が出力されないことがあります。iPod touch、iPhone本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（Gathers）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- オーディオ機器をBluetooth接続した状態では、USB接続したiPod touch、またはiPhoneの音声が出力されないことがあります。その際は、Bluetooth設定画面でオーディオ再生を「オーディオ接続しない」に設定し、再度iPod touch、またはiPhoneを接続してください。→ P.88

iPodを再生する

本機では、iPodを接続してiPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。接続方法については、クイックガイドをご覧ください。

⚠ 注意

- 走行中は、iPod本体の操作はしないでください。
- iPodは、安全な場所に置いてご使用ください。

— お願い —

- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のiPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- 万一iPodが操作不能になったときはiPodをリセットし、再接続してください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。

リセット方法の例

- iPodの場合：

「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に長押しします。

- iPod touchの場合：

「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に長押しします。

※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。

— お知らせ —

- OSのバージョンによっては、本機とiPodを接続すると、iPodからは操作できない場合があります。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

— MEMO —

- オーディオファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ対応iPodにおいてビデオ再生中に接続した場合は、iPodにより再生位置が異なることがあります。ビデオを見る場合、再度ビデオファイルを選択してください。
- Dockコネクタ搭載のiPod / iPodビデオを視聴するには、別売のビデオ対応iPodケーブルを使用します。

iPodを聴く

準備

- Dockコネクタ搭載のiPodは、別売のビデオ対応iPodケーブルを別売のUSB接続ジャックに接続します。
- Lightningコネクタ搭載のiPodは、iPhone、iPodに付属のケーブルを別売のUSB接続ジャックに接続します。

1 iPodを接続する

2 ソース選択画面で USB/iPod

iPod内のトラックが再生されます。



iPodビデオを見る

⚠ 警告

- 運転者がiPodビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみiPodビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。

準備

- 別売のビデオ対応iPodケーブルを別売のUSB接続ジャックに接続します。
- 別売のビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子を、別売のVTRコードに接続します。
- iPodの接続方法を「USB+VTR接続（アナログ音声）」に設定します。→ P.133

— お願い —

- iPod接続の際は、ビデオ対応iPodケーブル以外は使用しないでください。

— お知らせ —

- ファームウェアが2.0より古いiPod touchは、ビデオ再生に対応していません。

— MEMO —

- OSのバージョンによっては、iPodビデオ再生時に映像が表示されない場合があります。その際は、iPod側でミュージックアプリケーションをフォアグラウンドにすることで症状が改善される場合があります。

1 iPodを接続する

2 ソース選択画面で **USB/iPod**

iPodビデオが再生されます。



画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：

手動でメニューキーを非表示にする。

— MEMO —

- オーディオモードで再生された場合は、条件を指定して再生するとiPodビデオの映像に切り替えられます。→ P.133

早戻し／早送りする

1 再生中に **⏮** (早戻し)、または **⏭** (早送り) を長押し

— MEMO —

- ⏮**、**⏭** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラック・チャプターを再生する

1 再生中に **⏪** または **⏩**

チャプターのあるトラックを再生中は、前、または次のチャプターの先頭トラックが再生されます。

— MEMO —

- ⏪** を押すとトラックの先頭に戻り、さらに **⏪** を押すごとに前のトラックに移動します。

リピート・シャッフル再生をする

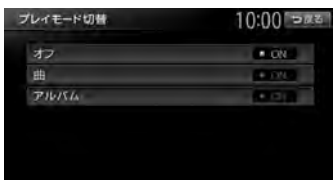
1 ソース選択画面で **USB/iPod**

2 **機能**

3 **シャッフル** または **リピート**

4 目的の項目を選択

(シャッフルの場合 (オーディオのみ))



オフ：

シャッフル再生を解除する。

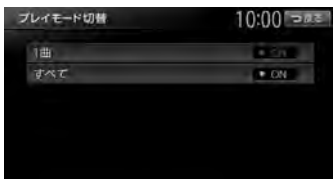
曲：

現在再生中のアルバム内の全トラックをランダムに再生する。

アルバム：

全アルバムをランダムに再生する。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

(リピートの場合)



1曲：

現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

すべて：

全アルバムの全トラックをリピート再生する。

選択した動作での再生がはじまります。

— お知らせ —

- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。

— MEMO —

- シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

タイトルリストから再生する (オーディオ)

- 1 ソース選択画面で **USB/iPod**
- 2 **トラック**を選択

条件を指定して再生する

- 1 ソース選択画面で **USB/iPod**
- 2 **メニュー**
— MEMO —
• **メニュー** をタッチすると、最後に表示したリスト画面が表示されるため、手順4～手順5の画面に進む場合があります。手順3の画面を表示させるには **メニュー** を長押ししてください。

- 3 **ミュージック** または **ビデオ**

- 4 目的の項目を選択

— MEMO —

- 選択できる項目例：

(オーディオの場合)

- プレイリスト / アーティスト / アルバム / 曲 / Podcast / ジャンル / 作曲家

(ビデオの場合)

- ビデオプレイリスト / ムービー / ミュージックビデオ / テレビ番組 / ビデオPodcast / レンタルムービー

など

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

リスト表示中に何も操作しないまま約10秒が過ぎると、iPod再生画面に戻ります。

- 5 **トラック**を選択

— MEMO —

- 手順3～5で **再生画面** をタッチすると、iPod再生画面に切り替わります。
- 手順4～手順5で **メニュー** をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。押し続けると、手順3の画面に戻ります。
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。

iPodの設定をする

iPodビデオの画質を調整する

- 1 ソース選択画面で **USB/iPod**
- 2 **画質調整**
- 3 調整する項目を選択



- 4 **−** または **+**
画面の映像を見ながら画質を調整します。
- 5 **戻る**

— MEMO —

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できません。

iPodの接続方法を切り替える

iPodの接続方法を、「USB接続」または「USB+VTR接続(アナログ音声)」から選択します。(初期値：USB接続)

準備

- 別売のビデオ対応iPodケーブルを別売のUSB接続ジャックに接続します。
- 別売のビデオ対応iPodケーブルのビデオ端子を、別売のVTRコードに接続します。

- 1 ソース選択画面で **USB/iPod**
- 2 **機能** ▶ **接続方法**

3 接続方法を選択

USB接続：

iPodではミュージックモードのみの対応にする。

iPodビデオモードへの切り替えはできません。

USB+VTR接続（アナログ音声）：

VTR端子をiPodの映像、音声入力として使用する。

iPodでは、ミュージックモードとビデオモードの切り替えができます。

この設定を行うとソース選択画面の **VTR** は非表示になり、VTR機器をご利用できません。

「USB+VTR接続（アナログ音声）」に設定している場合は、別売のビデオ対応 iPod ケーブルのビデオ端子を、別売の VTRコードに接続する必要があります。

— MEMO —

- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。

アルバムのジャケット写真を表示する

iPodに取り込まれているアルバムのジャケット写真を表示できます。

1 ソース選択画面で **USB/iPod**

2 機能 ▶ **アルバムアートワークの表示**



— MEMO —

- ジャケット写真の取得には、数秒かかることがあります。

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothオーディオを聴くには

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

準備

- オーディオ機器を本機に登録（ペアリング）します。→ P.87

— お願い —

- ポータブル機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

— お知らせ —

- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオ機器（例 iPod/iPhoneなど）によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
- Bluetoothオーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
- 走行中はペアリングを実行できません。
- Bluetoothオーディオは、本機からの自動接続を行いません。接続したいオーディオ機器を操作し、接続を行ってください。

— MEMO —

- Bluetoothオーディオ機器は、ハンズフリー機器とあわせて5台までペアリングできます。すでに5台ペアリングしている場合は、ペアリングの情報を1台分消去してから、新しく登録してください。
- iPhoneをBluetoothオーディオとして再生中、iPhone側でBluetooth画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetoothオーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声が出力されない場合は、オーディオ機器からプロファイル切断し、再度接続してください。

Bluetoothオーディオを再生する

— お知らせ —

- Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオ機器側から操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ソース選択画面で Bluetooth AUDIO

Bluetoothオーディオが再生されます。



— MEMO —

- Bluetoothオーディオ機器によっては、自動で再生が開始されないことがあります。その場合は、**▶/||** をタッチするか、またはBluetoothオーディオ機器側で再生させてください。
- 再生を一時停止、または再開するには **▶/||** をタッチします。
- Bluetoothオーディオ機器によっては、**メニュー** および **トラックリスト** が表示されない場合があります。

早戻し／早送りする

- 再生中に **◀◀** (早戻し)、または **▶▶** (早送り) を長押し

— MEMO —

- ◀◀**、**▶▶** から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

- 再生中に **◀◀** または **▶▶**

— MEMO —

- ◀◀** を押すとトラックの先頭に戻り、さらに **◀◀** を押すごとに前のトラックに移動します。

トラックリストから再生する

— お知らせ —

- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

— MEMO —

- リスト操作ができないときは、Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動しているかどうかを確認してください。

1 ソース選択画面で Bluetooth AUDIO

2 トラックリスト

3 トラックを選択

選択したトラックの再生がはじまります。

条件を指定して再生する

フォルダやカテゴリーから、再生したいトラックを探して再生できます。

— お知らせ —

- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

— MEMO —

- リスト操作ができないときは、Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動しているかどうかを確認してください。

1 ソース選択画面で Bluetooth AUDIO

2 メニュー

3 目的の項目を選択

— MEMO —

- 選択できる項目は、Bluetoothオーディオ機器によって異なります。

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

リスト表示中に何もタッチしないで10秒が過ぎると、Bluetoothオーディオ再生画面に戻ります。

4 トラックを選択

— MEMO —

- 手順3、4で **再生画面** をタッチすると、Bluetoothオーディオ再生画面に切り替わります。
- 手順3、4で **メニュー** をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。長押しすると、手順2の画面に戻ります。

リピート・シャッフル再生をする

— お知らせ —

- この機能は、AVRCP Ver1.3以上に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

1 ソース選択画面で Bluetooth AUDIO

2 機能 ▶ シャッフル または リピート

3 目的の項目を選択



※画面はシャッフルの場合です。

(シャッフルの場合)

オフ：

全曲シャッフル、またはグループシャッフルを解除する。

すべて：

Bluetoothオーディオ内の全トラックをランダムに再生する。

グループ：

現在再生中のグループ内の全トラックをランダムに再生する。

(リピートの場合)

1曲：

現在再生中のトラックのみをリピート再生する。

すべて：

Bluetoothオーディオ内の全トラックをリピート再生する。

グループ：

現在再生中のグループ内の全トラックをリピート再生する。